

科目区分：共通基礎科目

授業科目名	教養特別講義						学期	曜 日	校時
英 語 名	Special Lecture for Freshman								
担 当 教 員 名	富 永 義 則 関 根 一 郎 井 出 啓 二	単位数	2 単位	必修 選択	必修		前期	金曜日	2 校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法									
学長、理事及び名誉教授による特別講演により、長崎大学の基本理念に触れ、ものの見方・考え方の多様性、課題探究・学問の面白さを知るとともに、「長崎」、「平和」及び「海洋と文化」の講義により、アジアとの関係を含め、長崎の歴史について学び、長崎の文化を知り、世界で唯一の被爆国として平和の尊さについて考えてもらう。									
テ キ ス ト 、 教 材 等									
長崎：「出島の科学」および「出島のくすり」九州大学出版会 生協にて販売。 平和：特になし。 海洋と文化：講義時に示す。									
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法					教 員 研 究 室			
M13・T20A	レポートの内容と出席を考慮して評価								
授 業 計 画									
授業計画									
第 1 回	4 月 1 5 日	特別講演 I	齋藤 寛	(学長)					
第 2 回	4 月 2 2 日	長崎	富永 義則	(環境)					
第 3 回	5 月 6 日	長崎	富永 義則	(環境)					
第 4 回	5 月 1 3 日	長崎	富永 義則	(環境)					
第 5 回	5 月 2 0 日	特別講演	岩掘 修明	(名誉教授)					
第 6 回	5 月 2 7 日	特別講演	石原 忠	(名誉教授)					
第 7 回	6 月 3 日	海洋と文化	井出 啓二	(経済)					
第 8 回	6 月 1 0 日	海洋と文化	井出 啓二	(経済)					
第 9 回	6 月 1 7 日	海洋と文化	井出 啓二	(経済)					
第 10 回	6 月 2 4 日	特別講演	松田 芳郎	(名誉教授)					
第 11 回	7 月 1 日	特別講演	山田 毅	(名誉教授)					
第 12 回	7 月 8 日	平和	関根 一郎	(医歯薬)					
第 13 回	7 月 1 5 日	平和	関根 一郎	(医歯薬)					
第 14 回	7 月 2 2 日	平和	関根 一郎	(医歯薬)					
第 15 回	7 月 2 9 日	特別講演	福永 博俊	(理事)					

授業内容

1. 長崎

出島の科学：西洋医学、化学発祥の地長崎

第1回 シーボルトの処方箋から見えるもの

第2回 上野彦馬の化学

第3回 長与専斎の衛生学

1543年種子島に武器とはいえ鉄砲が伝えられたのが、西洋技術導入の先駆けとなったのは間違いない。その後の徳川の鎖国時代でも長崎の出島を中心に西洋との門戸が開かれていた。小さな入り口ではあったが、その後の近代日本の建設に果たした出島の役割は計りしれない程大きい。その中で最も大きな影響をもたらしたのがオランダ商館医シーボルトである。このシーボルトが残した処方箋を解説する。当時の西洋医学、これを理解するために導入された化学も長崎が発祥の地となっている。写真の開祖となる上野彦馬は試薬を自ら作製する化学技術開拓の祖でもある。明治になって医療行政全般の確立に貢献した大村出身の長与専斎は日本衛生学の父といわれる。この長与専斎も長崎で医学を学んでいる。これら3人の偉大なる科学者についての講義によって、先人を知り、長崎を良く知り、勉学に励んでもらいたい。

2. 平和

長崎大学学生として、平和、そして戦争を考える一環として、原爆を大きく取り上げる。長崎大学の前身のひとつである、長崎医科大学は甚大な被害を被った、また、大学本部の場所も、まさに被爆地である。長崎大学に学ぶ学生には、是非、原爆に関する確かな知識を持ってもらいたいと願っている。さらに、原爆のもっとも特徴である、放射線障害についても、その具体的な内容を学んでいただきたい。加えて、放射線と私たちの生活の関わりや、国家エネルギーにおける原子力発電についても、関心をもってもらいたく、概説を行いたい。液晶プロジェクターを用いて、これらについて、説明を行う。

1) 原爆とは

原爆の開発にいたる科学と時代背景

原爆の医学的被害

2) 放射線とは

原爆における放射線

放射線が生体に与える影響

3) 放射線と私たちの暮らし

自然放射能

放射線の平和利用

4) 原子力発電を考える

3. 海洋と文化

1) 海のアジア、陸のアジア

2) 中国と日本の近代化の比較

3) 日中関係の過去と現在

各講義担当者へ質問等ある際には、それぞれ以下の連絡先を使用して下さい

富永義則：TEL 819-2748 ytomi@net.nagsaki-u.ac.jp

関根一郎：TEL 849-7105 sekine@net.nagasaki-uac.jp

井出啓二：TEL 820-6322 k-ide@net.nagasaki-u.ac.jp